

当社では、中期経営計画において、2030年およびそれ以降のあるべき姿を見据えて、2025年における当社のあるべき姿とステークホルダーへの提供価値の最大化を実現するため、事業モデル・ポートフォリオ戦略、カスタマサクセス／地域戦略、テクノロジー戦略、リソース戦略という4つの重点戦略を定めました。そのうち、「Fujitsu Uvance」に関する具体的な取り組みをご説明いたします。

## Fujitsu Uvance

事業モデル・ポートフォリオ戦略の一環として、当社では、「Fujitsu Uvance」を含む収益性の高いデジタル・クラウドサービスを中心に成長を目指しており、2025年度の「Fujitsu Uvance」の売上目標を7,000億円としております。

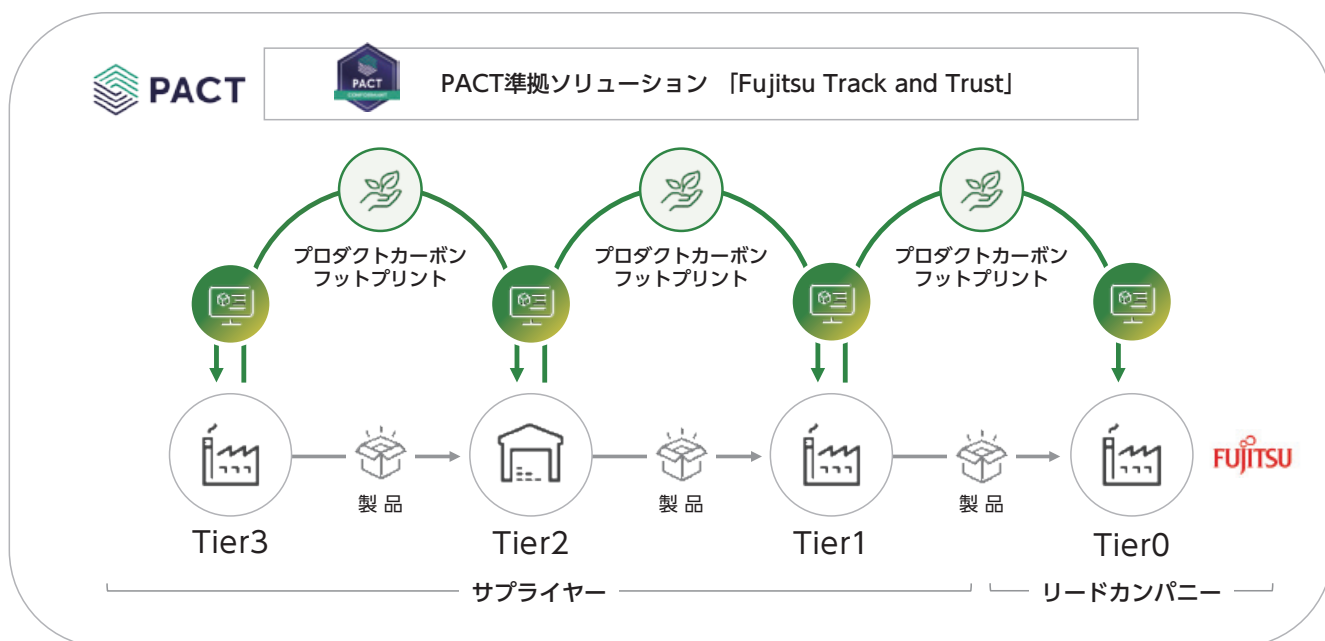
「Fujitsu Uvance」は、お客様のビジネス成長と社会課題の解決に挑むソリューションであり、富士通が長年培ってきたテクノロジーと、さまざまな業種の知見を融合させ、業種間で分断されたプロセスやデータをつなぎます。企業や組織のクロスインダストリーの協力を活性化させて、これまでにない解決策や知見を導き出します。このつなげる仕組み、業種横断のソリューションやサービスを通じて、お客様とともにサステナビリティ・トランスフォーメーション (SX) <sup>\*1</sup>の実現に取り組みます。以下の事例はSX市場でのグローバルスタンダードを目指した取り組みの1つです。

### ■ WBCSD PACTプログラム ～世界初の社会実装に成功～

当社は、World Business Council for Sustainable Development<sup>\*2</sup> (WBCSD：持続可能な開発のための世界経済人会議) が立ち上げたPartnership for Carbon Transparency (PACT：炭素の透明性のためのパートナーシップ) のメンバーとして、製品カーボンフットプリント (以下、PCF<sup>\*3</sup>) 情報の企業間データ連携の実現に向けた世界初の社会実装プログラム「PACT Implementation Program」<sup>\*4</sup>に参画し、リアルなサプライチェーン全体のCO<sub>2</sub>排出量の見える化に成功しました。

本実装で当社は、当社のノートPCのサプライチェーンを実例に、当社のソリューション「Fujitsu Track and Trust」などを活用して実データを連携し、PCFのCO<sub>2</sub>排出量の算出を実現し、また、サプライヤーの実データを用いたPCFのデータ連携を通じ、サプライヤー・エンゲージメントの向上やエコシステム構築といったリアルなサプライチェーンにおける課題抽出も実施しました。

今後も、本実装で得たノウハウおよび課題を活用して、富士通グループのマテリアリティの1つである地球環境問題の解決に向け、サプライチェーンの企業間データ連携や方法論の標準化策定に貢献するとともに、「Fujitsu Uvance」のESG経営プラットフォームサービスやデジタルサプライチェーンサービスとして、順次提供してまいります。



<当社の本実装プログラムのイメージ>

▶ 詳細はこちら <https://pr.fujitsu.com/jp/news/2023/09/13.html>



\*1 SX (サステナビリティ・トランスフォーメーション)：環境・社会・経済にプラスの変化をもたらすために事業を変革すること。例えば、継続的なモニタリングによるエネルギー使用量やCO<sub>2</sub>排出量の削減、官民連携のもと必要な人に必要なサービスが届く新たな公共サービスの提供などが挙げられる。  
 \*2 World Business Council for Sustainable Development：ビジネス活動を通じて持続可能な社会を実現することを目的とした、グローバル企業約200社のCEOが率いる団体、富士通は理事を担う。  
 \*3 PCF：商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO<sub>2</sub>に換算して、商品やサービスに分かりやすく表示する仕組み。  
 \*4 「PACT Implementation Program」：企業とそのサプライヤーがバリューチェーン全体で標準化されたデータを共有し、実データに基づく炭素情報に基づく意思決定を可能にする世界初の取り組み。異なる業種のリアルなサプライヤーとPCFのデータ連携に取り組み、課題の抽出およびPACT準拠ソリューションの適応と実効性の確認を目的とする。  
 ・期間：2023年4月～2023年9月  
 ・プログラムオーナー：WBCSD PACT  
 ・参加企業：Lead Company8社、PACT準拠ソリューション11社 (9月時点)、サプライヤー約500社